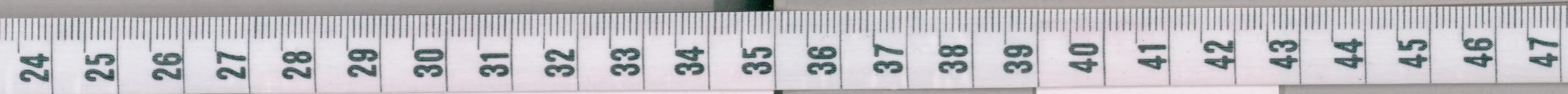
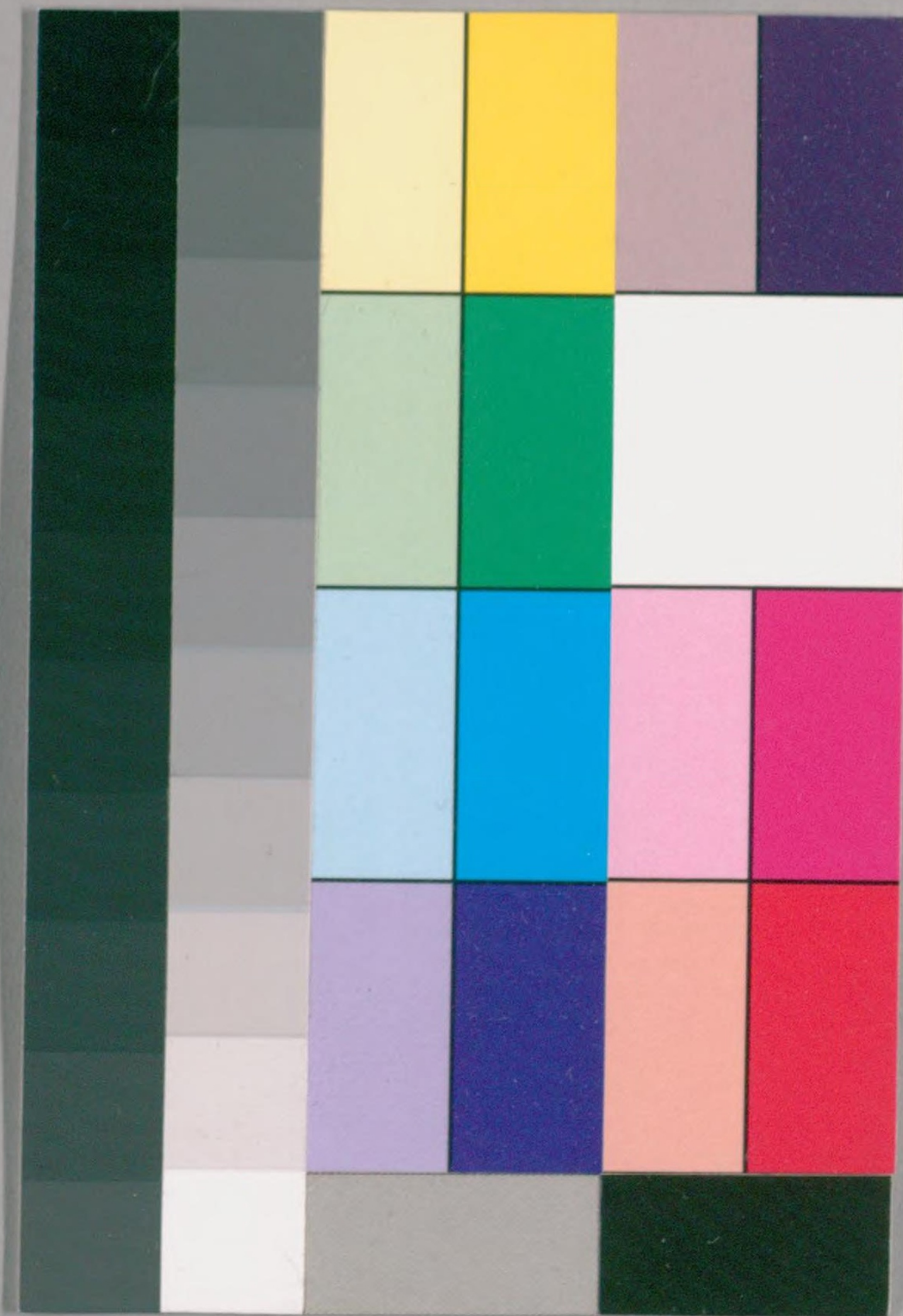


廣益地錦抄

851

5



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



廣益地錦抄序

松^{マツ}ノ枝^エ乃^ニ縁^ヰと^シ心^{ココロ}ヲ^シ縁^ヰ細^{ホソ}石^{イシ}ナ^クん^{コケ}芝^シ
 蔭^{カゲ}ノ^ノ方^{カタ}樹^ツノ^ノ草^{クサ}ナ^クん^{コケ}實^ミ生^シ
 考^{トキ}何^{ナニ}ノ^ノ心^{ココロ}ナ^クん^{コケ}蓋^{フタ}亦^モ小^コ殖^{シク}樹^ツ
 必^{カナラ}錦^{キン}妙^{マウ}あり^テ急^{イサ}浦^{ウラ}小^コ殖^{シク}樹^ツ
 花^{ハナ}壇^{ダン}ノ^ノ蔭^{カゲ}於^オ載^セく^{コト}わ
 ま^マノ^ノ後^{ノチ}奉^{ホウ}此^{コノ}今^{イマ}也^{ナリ}孫^ニ苗^{タネ}芽^メ芽^{タネ}て



吉田待郎氏

寄贈本



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

851
5

花系おししは 落商法 実取
そのまゝの或る所へ 糸 孫花
いひくたし 厚紙との 横陣しとく
繁茂る 移り 真冬す 於て 井 変
花 錦 糸 稀 紀乃 品 也 億 じ
し 斯 する 花 窓 氏 園 或 する
庭 蘇 ふ あり び あり の 花 ふ

真冬 花 木と 揚 糸 花 を 分 植 彼
と 見 六 移 氏 詠 を 結 氣 と ぬ
枝 と た ら あり 紙 か して 木
新 しい や あり 花 葉 と 興 ば 舞
と して 羨 心 と 暮 ら ぶ の あり や
盃 ぞ 捨 捨 せ じ せ 新 しい 家 と
名 記 一 井 不 測 する 氏 捨 入

陽子^{ユタコ}氏^{ウヂ}藥^{クスリ}とよぶ茶^{チヤ}と集^{シツカ}加^カ
 一^{ヒトツ}生^{シヤウ}乃^ノ形^{キヤウ}状^{ジヤウ}と禿^{トツ}筆^{ヒツ}に稿^{カウ}
 して廣益地錦抄ハ卷とあり
 享保七年九月吉日

武陽深井の珍書也



廣益地錦抄卷之一目錄

本の分

本教	わさくろ	白うん木	あさぐらん
りる教	玉ころろ	丹桂	眸子の本
七の教	あぐく	うらひす	黒もろ
を松	空桃	源平あさぐらうてい	い
おさふ竹	源平あざれ	沙名桃	白てい
さくら梅	ふん梅	林名梅	善野あざ
白うん梅	空梨	小あざ	山むら
揚長去	そこの春	白梅り	山白
八丈	ひら乃木	そよぎ	蘭葉
			よせ

○椿花形書

ト伴

白鵝

ひらのめん

白らん雪

かきぎん

おきかきぎん

おきの波

さざれ波

玉小箱

八宝源氏

伊西車

いの方うら

○茶山花書

玉ふやう

三波花

初花

うらうら

わらう花に

くらぶるふ

ちやとらん

雪山

小くら

八うら

うすうら

水車

うらう花

いさうや

そと花に

ちやうく

やうせうお

うらうらん

らんべふ

ぶらぬ

本教

本春初
枝多くけりて花形

わらのとくはなごのちう
らんをばば黄友と云う月
末ののたひらき生らんか
わらうらんをばば花
ぶらうあがくさごのてよ
し一本をたまておのが
ゆ花うく時をばばなく
て花むらあらし葉と
いひや

わさわ

本春末
枝をばば花むら

て大本とあり三月末四月
は花うく色白く下へさ
りて花散おわくつて
生花ふら
白雲本
本春末
枝をばば花むら
おと枝をばば大本とあり
下へさりのわさわは花の
花の色白くわさわは花の
少くはな花散お
くさば

のろ敷

通春末

まめあらしのふれあり花
乃のろびつたぬらふ志
ろくかまのあらふも
四又すふさぐの花形も
ふとくたつらん本末
さくてもふあまふ付
丹桂 本秋中
中く花乃尺折あり花
丹乃のろふさふとく
丹桂といふもの共
と桂といふもの共
のく時葉も白む乃

玉桂

本

かまがれて葉散あかひ
乃葉のこく敷方へお
射して付くか葉のま
つりふ月几つらふも
ちりといふ花ハ二月
のころ大豆乃をれれ
くつらふてふ心よ
ど葉と葉あせり
獲雷とのぞくといふ
り妙つらく桂あね
葉見よんは葉

のろ敷のろく

御しせり

總牡丹

本春末

ふさあしとく葉と葉
くさあひよち付あさ
乃あしとくはつらふ
牡丹の花とらふら
さくふさあしとく花
ふさあしとく葉と葉

七竈

本春末

花とらふはつらふ
まふはつらふ葉と葉

羽子木

通本

のふ木や枝散を付
葉はらふくまゆと
いふ木の葉はつて後の
と人又葉と葉と葉の
くつらふ葉乃をれれ
羽子のろくは葉と葉
ふさあしとくは葉と葉
知る葉と葉と葉
也葉はつらふ白光山
わり葉はつらふ葉と葉
一葉とくは葉と葉

況み鶯をとり及へり此実
を初林ら進みいふふふの
しくさざり花も実も実
実とていふ本も常どの光
く徳あつて新らしく桂ち
老翁の葉せの

志が

本 葉の相乃葉れ

とく本を数丈ふのび直
て枝本たあり器枝も
用とく此のちとけつら
本ありて一各様本た
いふあつてさうといふふ
らの本家居乃るくふ

いづらひのそん中
あつてさうらちの今
月の月かをさあへ

老翁

本 葉中

一重のわのまの葉らふ
さうとて実秋らうらひさ
くむさふさうらひさ
本の皮らうらひさ
あつてさうらひさ
それらうらひさ

うぐい

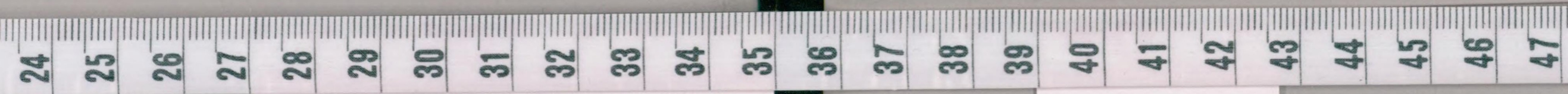
通本葉初
本をさうらひさ

一とて用進そその家へ雷
おほりさすかしくいふ
金をいふわのふ余れ
か不養と羅致いり
養甘べとけ比養乃ゆ
らわといふまうさんむ
又の名本玉たいふいふ
み今家らうい本と持
花ささふみさうす実
さげ乃とくさ家物
一所は多く分ては
さうさげとさうさ
長尺余さうさう

老松

本 葉中

及小本を葉はけく
さうとてさういふ本初
まささ乃初葉の樹ら
又葉さうとてさうら実
さうとてさうら実
さうとてさうら実
乃さうとてさうら実



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル 『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル 『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

定桃 春中

ひとよそあつしりろ
その中やうおあり
たさく後林とるそお
あうらまきくとり
そよまおくとりそ
おそまおくとりそ
子乃のねごとく

源平あめんたう 春中

木色数色はまのりて
あめんたうあり花白

急梅 春初中

三四尺とよまびたあこ
多くおそ花もあびく
花うすおあうらり
く環貴とるそあ
しうま小梅がね実多
はらそとああり又あが
えど実りあう

白のぼん 春初中

木色んおもてつたのふ
かり実多あつ花白く

あふあうくとびへい
お白のまんらびもさく
本らつとて花多く付
色くも大あのちてあ
ころあくと

源平あめんたう 春初中

赤とびへいお白つらん
りつとさうおあうり
木色あわやうけ
花も多くとく

あめんたう 春中末

白のぼん 春初中

あふは実と多く
よ実のちとびつた
花散らんうたうた
とくそ本とらうとく
して多く花さく花の
色白く実多りそ
らとめあう

寒梨 春初中

実乃かうら
まのとあうの
えとくああ



あせりたもさうらの
ほみひくくもく乃也
まて梅大いん花うー
し子うーまよ七六分
ありさか乃さうのふ
のし

揚梅

花中末

くへんたよそめれす
やふ大いん花かひす
ます七八分あり末も
こ梅乃くくもれのあ
らふとのと八を揚乃

そく二二月まら本
に付てあのみま
と乃びくくあくう
一名をまらな丸云

翁梅

花のせうのり

しさうらうの八を
本を花もい孫の梅小
くあふたふ花うく
花とあくつがとと
花ありのけがも
花ありのあ花も
に花ひくくゆ名付

芳野ぶれ梅

花中

本を花もつこの花
まていさうらう
にまぶれてさうら
さうらうのち八を中
ふりくくあさうら
本を揚てうくつ
花あさうらう
ふりくくあさうら
まぶれさうらう
さうらうのち八を揚

林青白梅

冬初

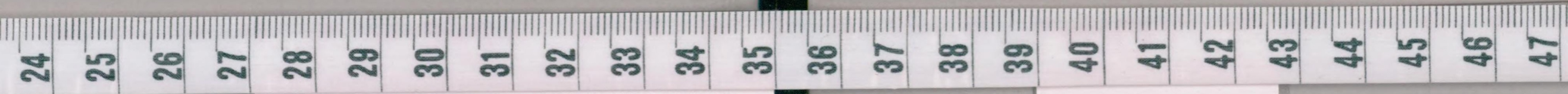
後初ふら雨にあり
勝列白子町行ん
堂乃をふ木あり
いつくあうてと
花さく
えんかつ
花あひと人白梅
十月初のたさ
小林青月といふ
梅乃白してさ
介をさ梅とを
ひくくあさうら





国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

ト付様 花形と葉のありて
中々おろし小つらんひと
花中一とよらば是れ
あり熱くはあはれ葉花
小ぢのうそくせむはよ
たがひあし

積縮酒椿 花形よく葉
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

初古茶山花 花形よく
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

白鷲椿 花形と葉も小
直交平くはあはれ葉花
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花

杜鵑椿 花の色朱お
あはれにうらなはれ
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花

なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

出帝茶山花 花形よく
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

うらなはれ葉花
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

白鷲椿 花形よく
なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ

なせりこ中よんあふれ
熱くはあはれ葉花
又桂の花のほはあはれ





白らん
椿



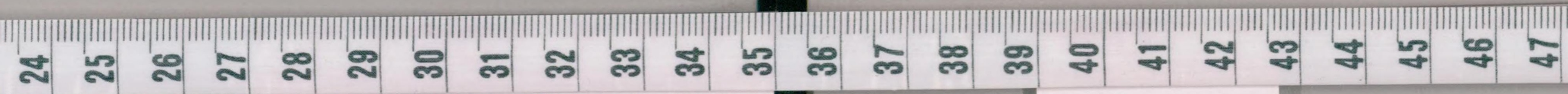
白らん
椿



ひらめん
椿



白らん
椿





紅牡丹
様



御車
様



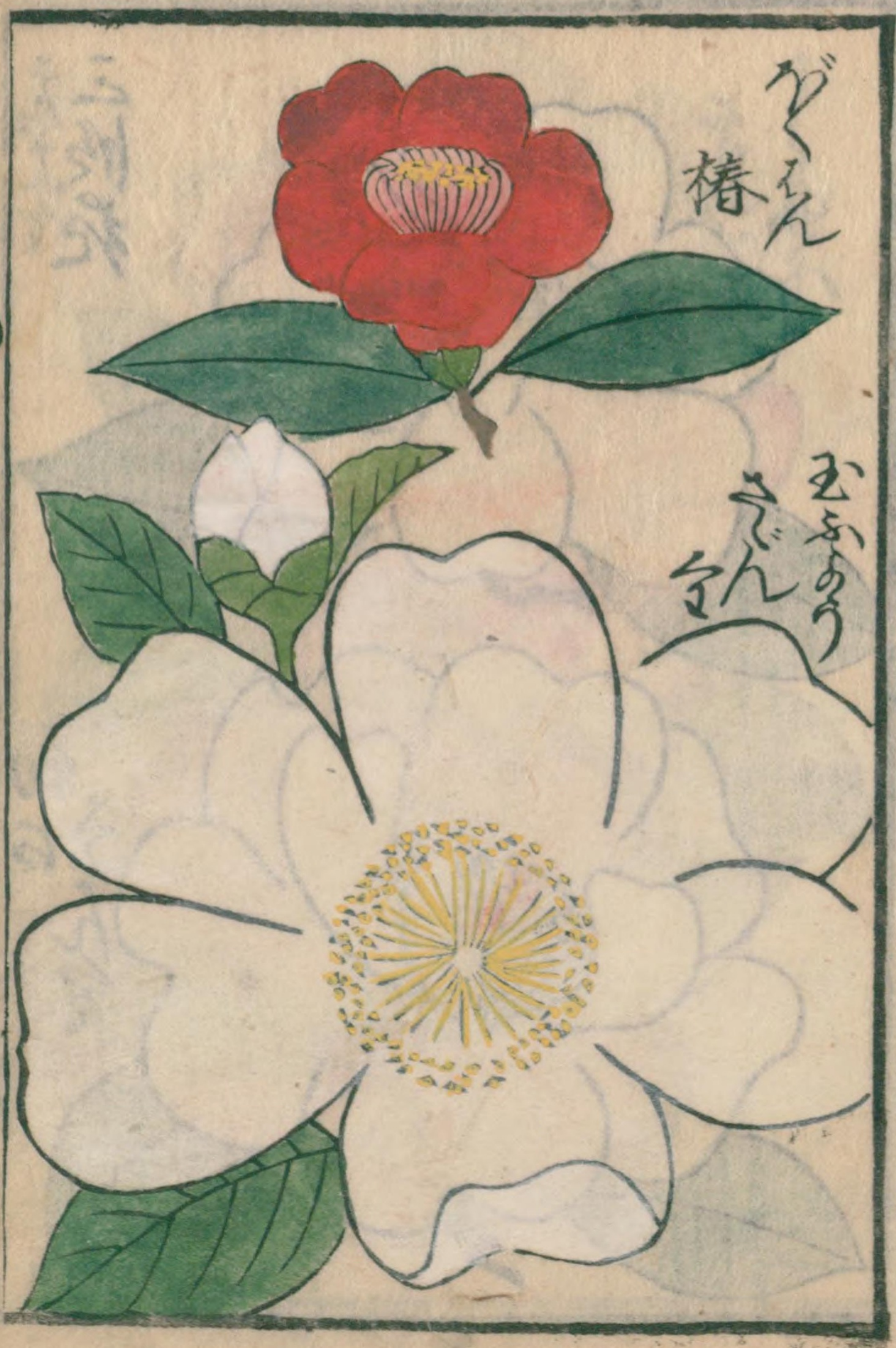
おの
様

紅牡丹
様



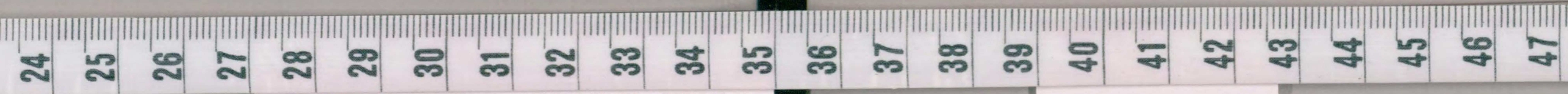
国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



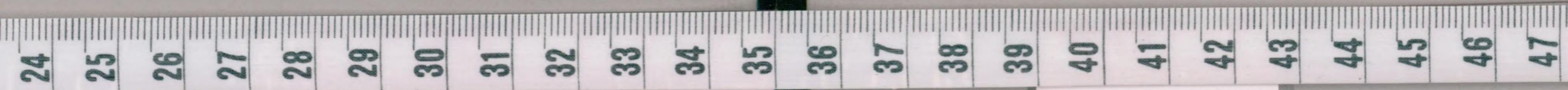


うしなふ
さんせ



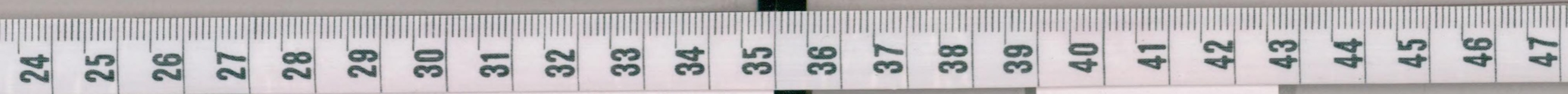
さんせ
三修花

初右
さんせ



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



三十七

三十八



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

甘みぐくおさん花



おこさん花

うぶま花
さん花



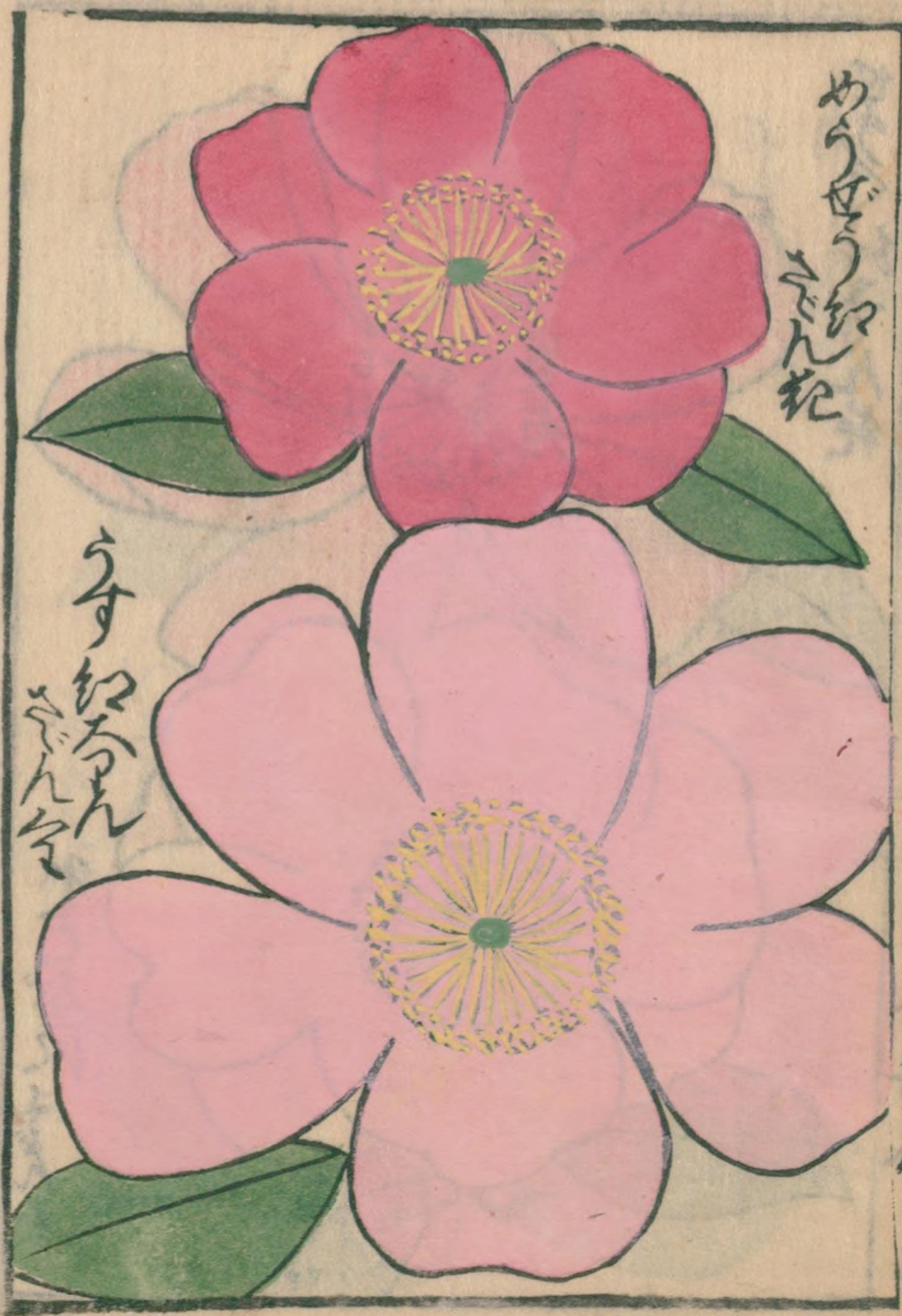
さん花





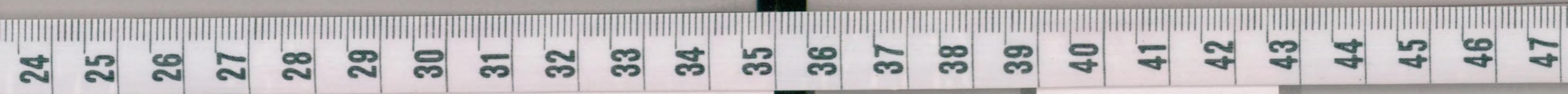
らんばに
さんご

らんばに
さんご



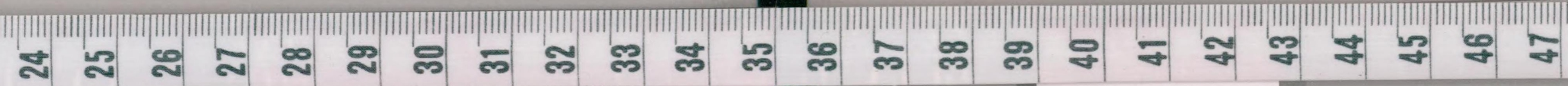
めうせうしゅん
さんご

うすしゅん
さんご



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル 『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



けらのも
 こせんさんちん



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル 『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



たけのこ



老松 おいまつ



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

若竹

竹乃ふとま
の栢乃のそふとく
みす余すそとふとのま
丈余よのざり紫の毛
ちろしき筋わりのて
竹乃ぞくきく丸紙て
かざしきもありの竹
とらうとくゆあて
ちろしきゆたも
梯長云 本ハセうび
しそ花やまのりさむ

小式部

本ハカキくま
秋乃何と実多く信
実の也かじつた
紫ハ柳のぞくぬ方
お射して付紫乃乃
よりの実さこのしくお射
しそつく九月はち
紫しそ実さこのり
友の紫乃ぞくふれ
山は家 ことまぶ乃本は
秋実ありのそ友紫

山白

本ハ実も山
白くはく山む
乃実白くはく山
とよよ後を紫しそ
実ハさこのり
て白く花うと
白梅乃花 子の梅
しそ実あ
大はがあのりの梅

後くにむくゆ
表といふ又紫ま
りふり花咲ゆ
白くひりけてさ
さりのまのりそ
あゆほしきか
後よ七るんげと
紫花のわとつ
ゆくべしそ
紫ハ二木紫
紫の紫ひりけて
紫とつとつ
けそむり

三十二

三十一



かおりのついでとありお
と表とふふのたさく

そこの白き雲 本も紫と
表も白と

花ひよふおおまの月
あろしやあろりの月
あろしやあろりの月

朝鮮薊 中にもさく
後初中

白ひく大つもん花
あまのりてはなごのど
とくいひひふとり
て丈夫余まごのち

この本よ様てうつく
く直花乃乃のよよ

お八丈薊 後初中

あまじつたをてあま
つん花おほくさもて
ざん乃乃とくあま
さくつ花の八丈を花
つら甘んやうそま
ざん乃乃

けら乃木 本は桐のおと
く大木とあり

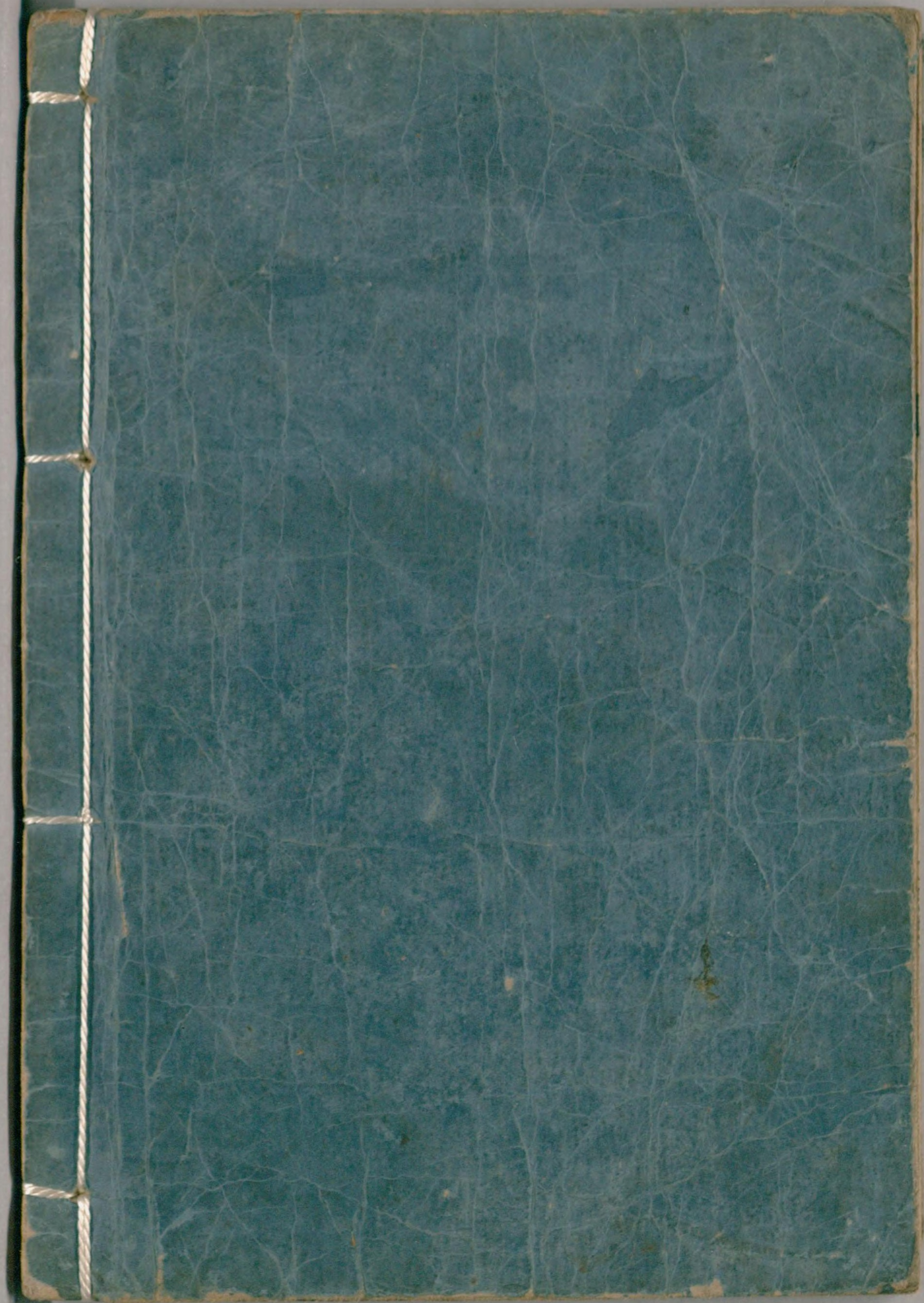
紫を桐乃葉にゆくら
とく紫の葉あし秋の
比美とじよふ南天乃
とくあそあん天より天
粒久おおあまうと桐
桐のそのたとくあま
にわしあま乃長二又余
あまうさづのながあま
す紫の冬とらて実
は冬とありの実あま
せんせん

そよぎ 紫と本ものり
乃本れおとく

あく葉も冬と志
かり秋実ありの紫の
ちくしよと二三粒づさ
がりてああうくあん天
よりとよ小粒をり枝
志がりてあまのながあ
わり

よそめ 紫も本もてま
よは本よ似てを

ちあ紫も紫あま
ちあれと出四月又開く



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用